

天理教由利分教会

郵便番号 015-0862

由利本荘市小人町159

電話 0184-22-0707

FAX 0184-22-1235

E メール yurisoudan.13@gmail.com

由利

立教186年

令和6年

4月号



第二回 北洋フェス

今月間の主な歩み

三月

一六日	クリーンデイYURI
一八日	北蒲原分教会靈祭
一九日	北蒲原分教会月次祭
二〇日	由利靈祭（朝づとめ後）
二二日	大教会月次祭
二六日	本部月次祭、由利婦人会
二七日（一八日）	大教会役員当番
二九日	大教会役員会議
三日	北洋フェス

四月

二日	支部婦人会（九時半） はぐくみ塾（一回目）
三日	支部例会（東滝沢分教会）
五日	会長、理事会
七日	お願いづとめ（十三時半）
九日	おさづけ取次日
教祖誕生月次祭	

今月の言葉

由利分教会长

佐々木 正明

田善孝、三宅雅史著、「医師と読み解く驚き！「かりもの」の体」より抜粋いたします。

貸借関係にたとえる意味

もつとも、親神様は人間の親でありますから、「利を添えよ」とはおつしやいませんが、利は添つて回るのが借り物だということに気付いてご恩を報じることが、「かりもののがえ」がわかつたということになるのかもしれません。

借り物には当然ながら返却期限があります。体についた返却期限を「寿命」と言つることもできます。そして、私たちの体は親神様が無期限で貸してくださいます。無期限とは、貸主である親神様が「返せ」とおっしゃれば、すぐにでも返さなければ

ならないということです。さらに、借り物であるなら、自分の都合で勝手に処分できません。処分できるものは我が物だけです。その意味から、自死は自分で体を処分するのであって、借り物と我が物との理の取り違ひの最たる例と言えましょう。

ところで、道具を借りたら、借り主は貸主に対して、道具についての責任を負うことになります。もし壊したならば、元通り修繕して返すか、それ相当の弁償をしなければなりません。しかも、そこで誠意を見せなければ、「もう一度とあなたには貸さない」ということになります。もとより、親神様は返せとはおっしゃいませんが、身の内入り込んでのお働きに退かれると、返すつもりはなくとも返さざるを得なくなるのが借り物です。

が書かれた『取扱説明書』が付いてきます。つまり、道具には造り主の思いがあつて、その思いに添つて使うから便利で長持ちして使えるというわけです。

そのようなことから考えると、私たちの体の造り主は親神様だから、造るに当たつての思召である、「陽気ぐらしをさせてやりたい」という目的にそつて使わせてもらうことが最も肝賢で、その取扱説明書が、「教理」と言えるかもしれません。

由利分教会春季靈祭執行 先人先生方を偲んで

去る三月二十日、朝づとめ後より当

教会の春季靈祭を執行しました。朝

早い時間にも関わらず、たくさんの方に参拝して頂き、

誠にありがとうございました。



ざいました。

楽しいプロクラムが盛りだくさん♪ 第二回北洋フェス開催

三月三十一日午前十一時より大教
会にて北洋フェスが開催されました。
おいしい模擬店にステージでの余興、
ビンゴ大会など楽しい行事盛りだく
さんでした。

次回はもっと暖かい時期に開催し
てもらえるよう要望させて頂きまし
た。また次回、皆さんと一緒に参加
させてもらえたたらと思います。

今回の北洋フェスに、会長さん、
豊島末子さん、佐々木由正さん家族
と長女同級生のひなちゃんが参加し
ました。

さらに、

由正さん家
族とひなち
ゃんはその
ままおぢば
に帰らせて



ヤング婦人会 おつとめ着付け教室を開催

去る三月十六日、ヤング婦人会で
着付け教室を開催しました。

先生は由利道の
増田あやさんで、
丁寧に着物の着
方から帯の締め
方まで教えてい
ただきました。



教会よりご連絡 天理教災害救援ひのきしん隊への 募金の御礼

去る二月から三月十三日までを募
金の期間として、天理教災害救援ひ
のきしん隊への募金をお願いしてお
りましたが、お陰様で総計十三万円
という多額の募金をお寄せ頂き、三
月二十六日に『天理教災害対策委員
会』の方へ送金させて頂きました。
御協力頂いた皆様方に、ここに厚
く御礼申し上げます。有難うござい
ました。

もらい、一緒に神殿を参拝しました。

日時 四月二十九日(祝、月)
午前九時三十分集合 十一時頃解散
場所 鳥海山 木のおもちゃ美術館
(由利本荘市町村鳴瀬台六五一一)
内容 施設内(トイレ、窓など)、
外(草刈り花壇などの清掃)

毎年恒例の「全教一斉ひのきしん
デー」が開催されます。皆さまのご
参加お待ちしております。

支部よりお知らせ 全教一斉ひのきしんデー

五月 祭典 役割 表

神殿講話 小野恭和理事

祭主	ておどり												会長		上之浜		扈者		
	弓	三味線	小琴	すりがね	太鼓	拍子木	チャンポン	笛	地方(副)	地方(主)	会	会長夫人	矢島町	伊藤奈津子	佐々木由正	坐りづとめ	前半		
小川道子	小松敬子	木内教子	東滝沢(前)	東瀧澤(前)	由利道	仁賀保	小林大晃	亀田町	利翔布	雄物川	由利東布	上之浜	会長夫人	矢島町	伊藤奈津子	佐々木由正	坐りづとめ	前半	賛者
豊島末子	齋藤美和子	中村柳子	斎藤清一	豊島大晃	豊島大晃	豊島栄二	齋藤賢爾	佐々木由正	佐々木義實	東滝沢	利翔布	上之浜	小林理英子	佐々木めぐみ	松田理奈	桑原廣	利翔布	前半	賛者
木内美歩	畠山清香	小川昭子	木内正信	木内繁樹	小野一男	伊藤廣	桑原義實	佐々木由正	利翔布	豊島栄二	由利東布	豊島栄二	伊藤伸	豊島優	佐々木由正	佐々木良美	小川貴美子	豊島絢子	指図方

部内だより

矢島町分教會

二十六日お勤めと、みたま祭りさせて頂きました。

由利の青年さんより、冬廻い取り外しても
らい、春がやつてきました。

亀田町分教会

四月一日～四日まで、初席の方をお連れしておぢばがえりさせていただきました。

利の宮分教会

佐々木喜謙に女の子が誕生しました。名前は「陽咲(ひなた)」です。